

責任者	商学研究科委員長	作成部局	商学研究科
-----	----------	------	-------

### 2021年度に向けた教育研究目標

<b>【A票:教育研究目標1】</b>									
(タイトル) 研究者の養成									
(狙い内容) 「研究職コース」においては、前期課程・後期課程5年一貫制のコースを通じて、高等教育機関等における研究者にとどまらず、民間のシンクタンクをはじめとした幅広い分野での活躍を想定した高度な専門性と豊かな人間性を備え、独創的な理論研究能力を有する課程博士を授与するにふさわしい研究者の養成を目標とする。									
<b>1. 教育研究目標を実現する上での2021年度のめざす姿(目標)</b>									
定員を充足するとともに、学生の研究分野の偏りを解消する。									
<変更時記入欄>									
<変更理由記入欄:2021年度のめざす姿(目標)を変更した場合、その理由を記入>									
<b>2. 達成度評価</b>									
評価指標	収容定員(15名)充足率(3学年全体)					評価尺度	A:80%以上 B:60%以上80%未満 C:40%以上60%未満 D:40%未満	変更有無	
	<変更時記入欄>						A: B: C: D:	有(無)	
<b>3. 年度毎の目標値</b>									
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	変更有無
2015年度(計画策定時)		D	C	C	B	B	B	A	有(無)
2016年度進捗状況 & 今後の目標値	評価尺度: A~D	<実績> C	実績	<2016年度末時点の見込み又は実績又は目標> D					
	見込・実績・目標(値又は状況)	<実績> 2015年度の在学生数7名		<2016年度末時点の見込み又は実績又は目標> 下記参照					
<b>【2016年度の進捗状況について】</b> ← 2016年度は在学生数4名となっている。									
<変更理由記入欄:評価指標、評価尺度、年度毎の目標値が変更有の場合>									

### 2016年度の取組み状況の確認

2016年度の取組みは、当初の目標どおりに進んでいるか?	→ はい・ <u>いいえ</u>
<上記で「いいえ」を選んだ場合>	
①理由: 受験者数の減少が定員充足率の低下を招いているため。	
②今後必要な取組み: 行動計画①の達成	

### <評価専門委員会・第三者評価結果> 2017年1月27日公示

- ・商学研究科に限らず大学院の定員充足率の問題は難しい問題ですが、引き続き検討が望まれます。(A)
- ・研究職コースの入学定員充足について、具体的な方策の検討が望まれます。(B)
- ・入学定員充足率の向上を目指すことは適切な目標設定であると思われます。(C)

**【A票:教育研究目標2】**

(タイトル)  
ビジネスリーダー等の養成

(狙い内容)  
「専門学識コース」においては、前期課程2年間のコースを通じて、企業にとどまらず官公庁、NPOなど幅広い分野での活躍を想定した実務現象の解明の基盤となる理論を修得した人材ならびに高度の専門的学識を備えたビジネスリーダーの養成を目標とする。

**1. 教育研究目標を実現する上での2021年度のめざす姿(目標)**

定員を充足するとともに、学生の研究分野の偏りを解消する。

<変更時記入欄>

<変更理由記入欄:2021年度のめざす姿(目標)を変更した場合、その理由を記入>

**2. 達成度評価**

評価指標	収容定員(60名)充足率(2学年全体)	評価尺度	A:80%以上 B:60%以上80%未満 C:40%以上60%未満 D:40%未満	変更有無 有(無)
	<変更時記入欄>		<変更時記入欄> A: B: C: D:	

**3. 年度毎の目標値**

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	変更有無
2015年度(計画策定時)		D	C	C	B	B	B	A	有(無)
2016年度進捗状況 & 今後の目標値	評価尺度: A~D	<実績> D	実績 <2016年度末時点の見込み又は実績又は目標> D						
	見込・実績・目標(値又は状況)	<実績> 2015年度の在学生数 22名		<2016年度末時点の見込み又は実績又は目標> 下記参照					

**【2016年度の進捗状況について】** ←  
2016年度は在学生数17名となっている。次年度に向けて、2016年度は、大学院副専攻「国連・外交コース」希望者を商学研究科として受け入れる体制を整えた。

<変更理由記入欄:評価指標、評価尺度、年度毎の目標値が変更有の場合>

### 2016年度の取組み状況の確認

2016年度の取組みは、当初の目標どおりに進んでいるか? → はい・いいえ

<上記で「いいえ」を選んだ場合>

①理由: 受験者数の減少が定員充足率の低下を招いているため。

②今後必要な取組み: 行動計画①の達成

**<評価専門委員会・第三者評価結果> 2017年1月27日公示**

- ・「国連・外交コース」はこれからスタートする段階ですが、本学の特長的な取組みとして参加学生を順調に確保されることを期待しています。(A)
- ・専門職コースの入学定員充足について、具体的な方策の検討が望まれます。(B)
- ・大学院副専攻「国連・外交コース」希望者の受け入れを増加させるというのは適切な指標だと考えます。(C)
- ・目標1も目標2もいずれも全学的な議論が必要と思われます。(E)
- ・評価指標の検討が必要です。(H)